



前期学校評価アンケートの集計結果についてご報告します。

7月に、保護者・地域の皆様を対象にした前期の学校評価アンケートを実施いたしました。多くの皆様にご協力いただき、ありがとうございました。

アンケートの集計結果、それをもとに今後の課題等についてご報告したいと思います。アンケートの集計結果は、それぞれの設問について、「4：とてもそう思う」「3：そう思う」を合わせた割合、「2：あまり思わない」「1：ほとんど思わない」を合わせた割合で示しています。

児童アンケート

	設 問	とてもそう思う ・そう思う (%)	あまり・ほとんど 思わない (%)
1	学校に行くのは楽しいですか。	93	7
2	授業はわかりますか。	92	8
3	宿題など家での学習に取り組んでいますか。	90	10
4	授業中に自分の考えをもって、友達の意見を比べることを行っていますか。	82	18
5	進んであいさつやえしゃくをしていますか。	95	5
6	外で遊んだり、運動したりすることが好きですか。	89	11
7	友達と仲良く過ごしていますか。	95	5
8	そうじなど、たてわり班活動を協力して行っていますか。	96	4
9	読書は好きですか。	80	20
10	困ったことがあったら相談できる人(家族・友達・先生等)がいますか。	88	12
11	地域の人と活動することは楽しいですか。	95	5
12	学校のきまりを守っていますか。	95	5
13	地域の行事に参加していますか。	69	31
14	地域のために何ができるかを考えたり、行動したりできますか。	78	22

保護者アンケート

	設 問	とてもそう思う ・そう思う (%)	あまり・ほとんど 思わない (%)
1	お子さんは、学校に楽しく通学している。	98	2
2	お子さんは、学習内容を理解している。	85	15
3	お子さんは、自主的に家庭学習に取り組んでいる。	46	54
4	お子さんは、積極的に自分の考えを表現したり、他の人と意見を交流したりする態度が育っている。	74	26
5	お子さんは、進んであいさつができる。	76	24
6	お子さんは、時と場に応じた言葉づかいができる。	79	20
7	お子さんは、放課後や休日に外遊びや運動をしている。	75	24
8	お子さんは、まわりの人と仲よく過ごしている。	98	2
9	お子さんは、本をよく読んでいる。	36	64
10	学校は、安全に過ごせるような環境整備に努めている。	97	3

11	学校は、連絡や相談がしやすく、それらに適切に対応している。	95	5
12	お子さんは、地域の行事に参加している。	41	59
13	学校は、地域のことを学ぶ学習や地域の方々と連携した活動を行っている。	89	11
14	学校は、教育方針や子どもたちの様子などを学校便り・学級だより、ホームページ等でわかりやすく伝えている。	94	6

地域アンケート 学校運営協議会委員の皆様にご協力いただきました。

	設 問	とてもそう思う ・そう思う (%)	あまり・ほとんど 思わない (%)
1	児童は、明るく、元気に生活している。	100	0
2	児童は、時と場に応じた言葉遣いができる。	80	20
3	児童は、進んで挨拶や会釈をしている。	100	0
4	児童は、交通や生活の決まりを守っている。	100	0
5	学校は、学校や学校周辺環境整備に努めている。	75	25
6	学校は、地域と連携しながら教育活動を行っている。	100	0
7	学校は、学校便りやホームページ等を通して、学校の情報を発信している。	100	0

○「つながりから豊かな心へ」に関すること

「学校に行くのが楽しいですか」の項目では、昨年度に引き続き、児童、保護者とも90%以上の肯定率でした。引き続き、「同学年の友達だけでなく、縦割り班の友達や地域の方との交流により、幅広い人間関係をつくっていくこと」、「わかる授業、楽しい授業を行うこと」、「授業の中で人間関係を作るよう工夫すること」などに努めていきます。また、いじめ防止についても、毎週のアンケート実施、相談ポストの設置、教育相談週間の設定等で、情報を収集し、学校全体で迅速に対応する等、今後も児童が楽しく、安心して学校生活を送れることを第一に考えていきます。次に、チャレンジ目標の「進んであいさつや会釈をする」については、児童、教職員、地域とも、95%以上の高い肯定率で、高い意識のもと取り組んでいることがうかがえます。しかし、保護者はあまり高くとらえておらず、改めて「あいさつは 明るく 笑顔で 自分から」の目標のもと、自分はいさつをしているつもりでも、相手に伝わっていなければ、あいさつをしたことにはならないということ働きかけていきます。

○「つながりから確かな学力へ」に関すること

「授業がわかりますか」の項目では、児童、保護者とも、高い肯定率です。毎日、校舎内を回っていますが、どの学年も落ち着いて、意欲的に学習している様子が見られます。しかし、保護者は児童ほど学習内容を理解しているとはとらえておらず、改めて授業改善に努めて参りたいと思います。また、岩国中校区の小中学校が連携して取り組んでいる「コミュニケーション力の育成」や「自分の考えをもって、友達の意見を比べる」といった項目については、児童、保護者とも高い肯定率ではあるものの、「学習内容を理解している」項目に比べるとやや低いようです。つきましては、引き続き、しっかり話し合い、考えを深める場を設定しつつ、児童が学びの楽しさを実感できるよう授業改善に努めていきます。次に、「自主的に家庭学習に取り組んでいますか」の項目については、児童の肯定率が高い反面、保護者のそれは46%と半分を割っています。これは、学習内容の未定着にも大きく関わってきます。引き続き、自主学習の推奨、朝学習の有効活用とタブレット端末等を利用した個に応じた学習内容・方法の工夫等にも取り組んでいきます。それから、「読書は好きですか」の項目は、児童が80%である一方、保護者、教職員とも半分を割っています。図書委員会も読書を楽しむ工夫をいろいろしているところですが、児童と大人の読書に対する姿勢のとらえに差があるようです。読書は心の栄養と言われます。大人もしっかり読書をし、その姿を見せながら、児童により実のある読書習慣を身につけさせていきたいと思ひます。

○「つながりから行動力へ」に関すること

コロナウイルス感染症の影響から、「地域の行事への参加」は、子どもも保護者も肯定率があまり高くないものの、「地域の人と活動すること」や地域学習については、約90%以上の肯定率です。つきましては、地域とのかわりをより増やしていき、地域を知り、地域を大切にす心、地域や社会の一員としての自覚が高まるよう努めていきます。